

84.11.12~14 数団総会での  $\alpha$  と  $\beta$  のテーマ  
に因るしじゆ

11.11 夕までに箱根に到着して一泊。少くとも  
12 朝、小田原で東京の高橋と合流する。  
11 夜、小田原と東京の和室で会うこと  
(多量) 可也。

11.12 向会前に  $\alpha$  と  $\beta$  の数枚を配布する。  
高橋の作成  
山本の作成  
(内容について ~ 10 日合せておく)  
一枚の紙片にあさめる。

< > ~ は子手親にする。  
なじみの  $\alpha$  ~ 言葉はさける。

要旨  
① 10.2~5 検定試験の旧来の方法の可能性  
② 10.30 検定率の判定の可能性  
(要 ~ 参加者の討論に列)

検定率 >  $\alpha$ 、これに反する報告  
議長 > 提案  
次期審の  $\alpha$  の  
10~年間のテーマ  
緊急のテーマ

① > の当事者からの発言、反論  
② > を要求する。  
このままの  
議題  
具体的提案として現実化  
しうる度合で  $\alpha$ 、 $\beta$  < 全員合格 >  
を判定しうる。  
(各委員・陪席者に公同して)

進評員 進評員  $\alpha$  (要旨 ~)

発言 反論は 高橋・山本を中心におこなう。

( $\beta$  は、会場に  $\alpha$  だけに存在する  $\beta$ 、特に  $\alpha$  から  
発言を要求しない。)

記事の順、議長報告内容に注目して  
総会の冒頭から  $\alpha$  と  $\beta$  の  $\alpha$  が必要あり。  
10.21 六甲の会談で  $\alpha$  が  $\beta$  になり、左派の  $\alpha$  は  
単に  $\beta$  の  $\alpha$  は  $\beta$  に注目して  
研究会と区別する。

11.13 夜の検定試験の段階までに、少くとも  
どうに  $\beta$  する。意志表示 ~ 方針提議をして  $\alpha$  は、カリに  
まで具体的展開を  $\beta$  して、何かは進行して  $\beta$  する。

カリに検定率  $\alpha$ 、判定を強行していること  $\alpha$  判った場合。  
10.30 の約束: < 要旨の 6 項目要求に文書で答える  
10.8 謝罪文の  $\alpha$  まで  
の履行を迫り、 $\alpha$  < 個別審  
要. 総評 > を討論する。  
できれば、11~12~13 に  $\beta$ 、に  $\alpha$  介入して実現して  $\beta$  する。

$\beta$  は適在する  $\alpha$  だけ  $\beta$  すべきではない。  
競争的 ~ 段階的に 進評員  $\alpha$  あり  $\beta$  > として出現すること  
証人  $\alpha$  ~  $\beta$  参考人  
拒否は  $\beta$  して  $\alpha$ 、その提議  $\beta$ 、 $\beta$  が全構成員の深慮で  $\beta$  解決  
場合に限られる。